



月刊 千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市栗町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

91.3.14 No. 3366

明日 怒りの反撃の弾へ ストライキ。総決起集会へ



ひびの入ったレールの補修点検をする係員

昨日の月刊労働千葉にあるように、JR東日本千葉支社は、三月十一日の「申第二一号」の交渉では、ついに書面回答も行わず、口頭の回答を繰り返すという不誠実極まりない対応を行った。これ、九一・三ダイ改の交渉は、そのはじめからおわりまで、一貫して回答を変えないという、団交を実質的に否定するがごとき態度に終始した。JR当局とJR総連革マルの結託した「JR体制」の行きつく先は、こうした極めて硬直した、国鉄時代にもみることのなかった、言わば末期症状ともいえる状態に突入している。

昨日の月刊労働千葉にあるように、JR東日本千葉支社は、三月十一日の「申第二一号」の交渉では、ついに書面回答も行わず、口頭の回答を繰り返すという不誠実極まりない対応を行った。これ、九一・三ダイ改の交渉は、そのはじめからおわりまで、一貫して回答を変えないという、団交を実質的に否定するがごとき態度に終始した。JR当局とJR総連革マルの結託した「JR体制」の行きつく先は、こうした極めて硬直した、国鉄時代にもみることのなかった、言わば末期症状ともいえる状態に突入している。

とど割りの線路上を130キロで走らせるといふのが??

ダイ改強行が切迫するなかで、三月一日総武快速線稲毛―幕張間でレールに亀裂の入る事故が発生した。労働千葉は三月五日に「申第二〇号」を発し、解明要求の申し入れを行った。この線区は「成田エクスプレス」が一三〇キロの高速で走るところであり、労働千葉がこの間のダイ改交渉のなかで、スピードアップ等の安全問題について指摘したのである。会社側は「エクスプレスの計画に合わせて線路改良を行っているので何ら問題はな

実際に日々レールの上を乗務している運転士が「あぶない」と感じていることを、机上の「計画」だけで「問題はない」と主張するJR当局の安全―運転保安無視の姿勢は許されるものではない。ラッシュ時間帯に、三十分一本の割り、最高一三〇キロの高速で走る「成田エクスプレス」は、より一層の運転保安の危機をつくりだす。労働条件の悪化を許さず、津田沼支部解体攻撃をはねかえして、総力で第二波ストライキにたとう。

故吉岡正明君追悼、91.3.15ダイ改強行弾へ 中江選挙抗争勝利、91春団勝利! 3.15労働千葉総決起集会へ

中江選挙、第二次総行動に集まるう

中江選挙抗争は、告示日まであと一ヶ月となりました。選挙は三度目とはいえ、決して予断は許さない状況をむかえています。労働千葉は、この間の総行動の上につけて、十七日から二日まで第二次総行動を開始します。とりわけ、十七日の日曜と二十一日の春分の日を、集中行動日に設定して、取り組みを行います。各支部は、残す一ヶ月余を、中江氏三選にむけて全力をあげて決起する様訴えます。

中江事務所へ行き方

- ◎ 津田沼駅北口 (パルコ側) 新京成バス ①番 入場券より乗車

- ◎ 「二宮支所」下車 (約百メートル戻る)

追悼、吉岡正明氏

三月六日急逝された元津田沼支部長・元本部執行委員であった吉岡正明氏(享年四八才)の告別式が、三月九日船橋市馬込斎場で行われた。吉岡氏は、労働千葉の先頭に立って闘いぬくとともに、八一・三ジェット燃料輸送延長阻止闘争で公労法被解

雇者として、争議団の一員として奮闘してきた。告別式には、本部、津田沼支部、青年部を過ごした新小岩支部をはじめとして、多くの仲間がかけつけ、在りし日の吉岡氏をしのぶとともに遺志をひきついで闘いぬくことを誓った。